

事業事前評価表

国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第二課

1. 案件名（国名）

国名：カンボジア王国

案件名：バタンバン州病院改善計画

(The Project for Improvement of Battambang Provincial Referral Hospital)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクター／バタンバン地域の現状と課題

1970年代から続いた内戦による医療従事者の喪失や医療機材・施設の破壊等の結果、カンボジア王国（以下、「カンボジア」という。）の保健医療システムの整備が立ち遅れた。しかし、その後カンボジア政府と我が国を含む開発パートナーによる様々な取り組みにより、乳児死亡率（2000年：95、2014年：28）（出生1,000対、Cambodia Demographic and Health Survey 2014）、5歳未満児死亡率（2000年：124、2014年：35）（出生1,000対、同上）や妊産婦死亡率（1990年：1,200、2013年：170）（出生10万対、同上）の削減等、国単位での保健指標の改善には著しい成果が表れている。一方で5歳未満児死亡率は首都プノンペン都で18に対し、バタンバン州では45（出生1,000対、Cambodia Demographic and Health Survey 2010）であるなど、プノンペン都と地方との格差が大きく、地方における医療サービスの向上が課題となっている。

カンボジア第二の都市であるバタンバン州に位置する当該州病院は州内のトップレファラル病院であるだけでなく、近隣地域の中心となる総合病院として機能を果たすことが求められている。南部経済回廊の一部である国道5号線（プノンペン～ポイペト～バンコク）が通り、物流の経路地としても要となる都市であることから、交通量が多く、診療科別に見ると外科患者数（交通事故による外傷）が増加している。無償資金協力「スバイリエン州病院改善計画」協力準備調査（2014年8月）によると、バタンバン州病院の外来患者数は、同じ第三次医療施設であるスバイリエン州病院の4.6倍、年間手術件数は1.7倍であった。しかしながら、その設備は1940年代の建設以来、老朽化が進み、敷地内に病棟が点在しているため効率的にサービスを提供できないといった課題を抱えている。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

カンボジア政府は「国家開発戦略計画 2014-2018」において保健分野を優先課題と位置付け、「国家保健戦略計画 2016-2020」において質の高い保健サービスの提供と公平なアクセスの確保を優先政策の一つに掲げている。本事業は、州のトップレファラル病院を整備することで、地方においても質の高い保健医療サービスの提供を可能にするものであり、これら計画を実現する方策として位置付けられるものである。

(3) 保健セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

対カンボジア王国 JICA 国別分析ペーパー（2014年3月）において「地方部の病院及び保健施設でのサービスの改善」が重点課題であると分析しており、対カンボジア王国国別開発協力方針（2012年4月）の重点分野にも「保健医療の充実」が定められている。

関連する過去の支援実績は以下のとおりである。技術協力「助産能力強化を通じた母子保健改善プロジェクト」（2010年～2015年）、無償資金協力「国立、市及び州病院医療機材

整備計画」(2012年)、無償資金協力「シハヌーク州病院整備計画」(2013年)等。

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行、英、仏、豪、ベルギー、国連児童基金、国連人口基金等の協調融資による「保健セクター支援計画 2」にて、地方のヘルスセンターの建設や機材整備を実施しており、バタンバン州病院に分娩・NICU棟が建設されている。協力内容の重複はない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業はバタンバン州のトップレファラル病院であるバタンバン州病院の施設及び医療機材を整備することにより、近隣州を含む当該地域の保健システムの強化を図り、もってその保健状況の改善に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

バタンバン州(人口:約112万人(Cambodia Inter-censal Population Survey 2013))

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容:

【施設】救急、内科ICU、外科、耳鼻咽喉科、手術室、検査室等が入った建物の新設(3階建て、延べ床面積:5,217.52㎡)

【機材】一般X線撮影装置、超音波診断装置、手術台等123品目(人工呼吸器等8品目については引き渡し後3年間のメンテナンス契約を含む)

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容:

詳細設計、施工・調達監理、システムの運用・保守の技術支援、検査室廃液処理体制の構築支援。

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費14.65億円(概算協力額(日本側):14.53億円、カンボジア国側:0.12億円)

(5) 事業実施スケジュール(協力期間)

2017年3月~2019年3月を予定(計25ヶ月)。施設・機材供用開始時(2019年3月)をもって事業完成とする。

(6) 事業実施体制(実施機関/カウンターパート):

保健省(主管官庁)、バタンバン州保健局及びバタンバン州病院(実施機関)

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリー分類:C

② カテゴリー分類の根拠:本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進:バタンバン州の貧困率は24州中14位(「国家開発戦略計画2014-2018」とカンボジアの全国平均貧困率19.8%とほぼ同等の水準にあり、バタンバン州病院の診療報酬の約半分が貧困救済基金で賄われている。本事業で、バタンバン州病院の機能改善を行うことにより、同地域の貧困層の適切な保健医療サービスへのアクセスが改善する。

3) 社会開発促進(ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等):本事業では、トイレやシャワー室の男女別ゾーン分け、カーテンによるベッドの間仕切りなど、女性が利用しやすい環境に配慮した設計を採用し、また、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに寄与するよう配慮されている。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担：特になし。

(9) その他特記事項：特になし。

4. 外部条件・リスクコントロール

(1)事業実施のための前提条件：バタンバン州病院の敷地内に本事業用地が確保される。

(2)プロジェクト全体計画達成のための外部条件：保健省が定める第三次医療施設の機能が大幅に変更されない。

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1)類似案件の評価結果：カンボジア向け無償資金協力「バンティミエンチャイ州モンゴルボレイ病院整備計画」（2004年）の事後評価等において、調達された第三国製の医療機材について、地元業者がスペアパーツを調達できず、修理が困難であったことが挙げられる。

(2)本事業への教訓：本事業においては、現地代理店を通じた機材及びスペアパーツの調達ルート等を入念に確認し、機材を選定した。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

本事業は、バタンバン州のトップレファラル病院であるバタンバン州病院の施設及び医療機材を整備することにより、同病院の機能の向上を図り、近隣州を含む当該地域の保健状況改善に寄与することが期待されており、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力方針・分析に合致している。カンボジア国民の健康・生活改善に寄与し、本事業を通じた個人の尊厳、生命、生活に対する脅威への対応が期待されることから、無償資金協力として本事業の実施を支援する妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値（2015年）	目標値（2022年）【事業完成3年後】
外科入院患者数（人/年）	2,738	3,356
内科ICU入院患者数（人/年）	1,261	1,618
外科手術件数（件/年）	970	1,101

2) 定性的効果

・施設・機材整備により、提供される保健サービスの質と量が向上し、当該地域の保健状況が改善する

・敷地内に点在した病棟を集中させることにより、より効率的にサービスが提供される

・近隣県から利用者や研修参加者を受け入れ可能になることで、地域のトップレファラル病院・中核研修センターとしての機能が拡大する

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6.(2) 1)のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価 事業完成3年後

以上